

社 報



さらに厳しく業績悪化

国土交通省
技術マッチング事業

国土交通省は中小建設業の支援事業として、技術マッチング支援事業を行っています。

これは、技術力の乏しい企業を支援するために、有用な技術を利用推進する仕組みです。

当社は、ピンポイント工法で、技術マッチング事業に参画し、さらなる事業拡大を模索いたします。



リーマンショックの後、当社の業績が悪化し続けています。

元請企業間の受注競争も激化し続けており、食うか食われるかの、生き残り競争はますます厳しくなっています。

当社の業績もここ数年は悪化の一途ですが、ここに来てさらに厳しく、不採算工事(赤字工事)が連続しています。

不採算の原因は、いろいろとあると思います。コスト高要因を考えれば、原材料の値上がり・労働生産性の低下があげられます。

東日本大震災の影響で、合板・鋼材が値上がりし、受注価格への転嫁もできず、コストを押し上げてしまいました。

労働生産性の低下については、職人さんの高齢化により、時間あたりの生産性が落ちています。

また、近隣の作業時間規制により、一日あたりの生産性も落ちていますし、元請会社休日取得により、年間あたりの生産性も落ちています。

生産性が落ちれば、賃金を下げるの

が、経済の原則です。

しかしながら、生活レベルを下げて、も最低限の生活費は必要ですし、すでにそのレベルまで賃金下がっている、これ以上の賃金低下は、集団離職・生産労働力壊滅の可能性もあり、やるべきではありません。

と言うことは、受注価格が低かったことが、不採算の大きな要因です。価格は、工事に必要なあらゆる原価を計算し、無駄を省きながら、積みあげ構成します。それに経費と利益を計上し価格を算出し、お得意様との交渉で請負価格が決定されます。

ところが、型枠工事会社のどこもが、売上減少の中で、職人さんを遊ばせるわけにいかず、職人さんも生活費を得るために、賃金下落を受け入れた結果、価格の減少が加速し、止まらなくなって、あり得ない低価格まで落ち込みました。

業績悪化を受け、11月の賃金からは、役員の任にあたるものは、一律15%を賃金カットいたします。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

交通事故が連続、安全運転で！

10月12日(水)AM6:50頃
浦谷部矢倉さん運転の車が走行中にガードレールに接触し、車両前頭右部を破損した。

10月17日(月)PM6:10頃
竹島部小野さん運転の車が、ガレージにてバックで所定位置に停車しようとして、隣の車に接触破損。
相手方の車が破損し賠償発生。

交通事故は、無駄な労力・無駄な出費を伴います。また運転されている方の精神衛生も良くありません。百害あって一利なし、典型と言って良いでしょう。

特に、10月12日の事故は、ガードレールを突き破っていれば、大勢が死亡する大惨事になっていた可能性もあり重大です。安全運転で！

2011年 安全成績

■現場災害 H23.1.1-H23.9.30

休業災害	----- 2
不休災害	----- 2
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合 計	----- 4

■交通災害 H23.1.1-H23.9.30

人身災害	----- 0
物損災害	----- 3
合 計	----- 3